



あめ りょう  
**雨の量は どうやって はかるの**

うりょうけい  
**雨量計ではかる**

あめ りょう うりょうけい  
雨の量は、雨量計ではかります。いつ、どこではかって、くらべることができるように、はかり方をきめておき、きまった雨量計を使います。

あめ りょう たてもの き した ただ  
雨の量は、建物のかげや、木の下などでは正しくはかれないので、しばふでおおわれている広場に雨量計をおきます。

また、地面からはねた水が入らないように、雨量計の口は地面から50センチメートルほど高くしてあります。雨がふってもふらなくても、毎日、はかります。

うりょうけい あめ りょう うりょう  
雨量計のびんにたまった雨の量は、雨量ますではかります。

しつない  
**室内ではかるとき**

うりょうけい みず りょう そと み い うりょうけい てんとう  
雨量計にたまった水の量を、いちいち外に見に行かなくてもはかれる雨量計「転倒ます雨量計」もあります。

じゅすいき はい あまみず てんとう かたほう  
受水器に入った雨水が、転倒ますの片方に注がれ、0.5ミリメートルになると、センサーが上がったり下がったりする動きと同じように、ますがたおれて雨水をはい出します。

ますがたおれるとき、スイッチが入って、部屋にある記録器に自動的に記録するようになっていきます。(監修 村山貢司)

●雨量計と雨量ます

